

News Release

令和2年10月23日

大阪PCB廃棄物処理施設 真空加熱分離装置への搬送台車セット作業時における作業員の負傷について

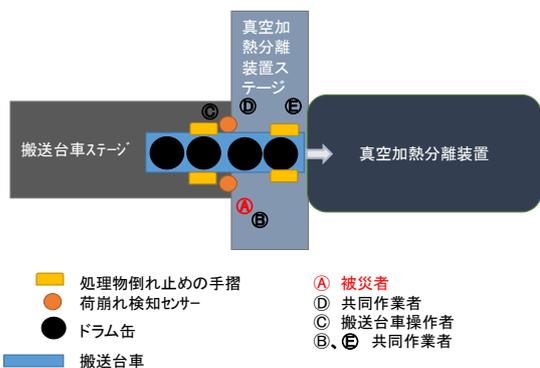
令和2年10月12日（月）午後1時50分頃、当社大阪PCB廃棄物処理施設の真空加熱分離装置への搬送台車セット作業時において作業員が負傷し、約1カ月の入院・治療を行うこととなりましたので、お知らせします。

1. 当社大阪PCB廃棄物処理施設の真空加熱分離装置において、10月12日（月）、処理物を入れたドラム缶を載せた搬送台車をセットする際、搬送台車に付いている処理物倒れ止めの手摺と装置扉手前に設置されている荷崩れ検知センサーの支柱間に左手前腕部を挟まれるという労働災害が発生しました。
2. 作業員は直ちに救急車で病院に搬送され、左手前腕骨の骨折との診断結果を受け、翌10月13日（火）に骨折箇所の手術を受けました。その後、治療を継続しており、このたび約1カ月の入院となることがわかりました。
3. 本労働災害につきましては、原因調査を進めているところであり、関係行政等のご指導を得て、搬送台車が停止した状態での作業実施の徹底等の対策を講じ、再発防止に努めてまいります。

【参考】真空加熱分離装置とは

コンデンサー等のPCB廃棄物を炉の中に入れ、1日間、真空状態で400℃以上に加熱しPCBを蒸発させ、蒸発したPCBを冷却したオイルシャワーで回収する装置。

1. 発災当時の作業状況



2. 左腕を挟まれた状況



<連絡先>

中間貯蔵・環境安全事業株式会社 大阪PCB処理事業所
所長 安井 仁司 (TEL 06-6468-0575)
安全対策課長 有門 貴 (TEL 06 - 6468 - 0575)